

学校運営協議会 会議実施報告

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 飛騨神岡高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年10月17日(金) 10:00～12:00
- 3 開催場所 飛騨神岡高等学校 校長室
学校行事(文化祭2日目)の様子を観ていただいた
- 4 参加者

会 長	川上 佳洋	NPO法人宇宙まると創生塾 飛騨アカデミー代表
副 会 長	帰家 圭吾	有限会社 かんや代表
委 員	島田 紀子	東洋建設資材株式会社
	中 伸也	育友会会長
	中島 一美	前育友会会長(書面参加)
	南 智子	同窓会代表(書面参加)
	山口 郁夫	飛騨神サポーター代表(書面参加)
	山田ゆかり	総合型地域スポーツクラブ 一般社団法人 飛騨シューレ
オブザーバー	都竹 淳也	飛騨市長(欠席)
	布俣 正也	岐阜県議会議員
学 校 側	各務 友浩	校長
	西垣 光洋	教頭
	大坪 篤	事務長
	楯 幸司	教務主任
	野村みね代	生徒指導主事
	平野 昌之	進路指導主事
	中村 英樹	教務部特別活動担当

5 会議の概要(協議事項)

(1) 前期の取組について

教頭より各分掌等の今年度の取り組みについて、地域とかかわる教育活動、中高一貫教育について説明した。

(2) 学校評価アンケートについて

教頭より実施した学校評価アンケートについて、昨年度の結果との比較を含めながら今後の課題などについて説明した。

保護者・学校運営協議会委員からはどの項目も評価に大きな変化はなく、肯定的な評価を

いただいていること、課題としては、外部への情報発信に工夫が必要となることがあげられた。

(3) 運営協議会会長より提言

飛騨神岡高校のあり方について、神岡町連携型中高一貫教育評価委員会等でも提言してきたが大きな進展はなく、今後検討するという形で具体的な取り組みは進んでいない。そこで、飛騨神岡高等学校あり方検討会という形で飛騨神岡高校学校運営協議会の中で協議・検討し、今後の学校運営方針等に盛り込んでいってはどうか。

検討会の趣旨として、

- ・今年度から概ね10年先を見据えた今後の飛騨神岡高校のあり方について、①魅力ある学校づくりに向けた取組、②人口減少を見据えた教育環境の整備の2つの側面から地域から求められる基本的な考え方や方向性を検討する。
- ・県教育委員会や飛騨市へ提言し、県や市の方針を策定する際に、国の動きや社会情勢の変化等を踏まえて柔軟に対応してもらえるよう提言する。
- ・地域子どもたちをどう育て、そのうえで持続可能な町づくりを考え、地域住民が考える飛騨神岡高校のあり方を検討する。

以上のことを念頭に取り組みを進めてはどうか。そこでまずは現状を把握することが必要なので地域の調査（アンケート）を実施するのはいかがか。

- ・調査対象
中高生・保護者（小中高）
幼小中学校
教職員
市長・市教育長・県教育委員会
- ・アンケート内容と調査方法について

(4) 委員からの助言

委員から前期の取り組みについてと会長からの提言について意見をいただいた。

意見1：いろいろなことに取り組んでいただいている。県の方にも多方面からアピールしていきたい。どんなことも先手を打って地域の皆さんに飛騨神岡高校を再認識してほしい。正確な情報発信が大切であり、メディア等を有効に活用して、地域の皆さんとの情報共有を推進してほしい。

来年度から飛騨市にC o I Uが開学する。開学の意義を理解していただいて、飛騨市だけではなく飛騨地域の発展や活性化に向けて取り組んでいけるとよい。

今後の飛騨神岡高校のあり方についても、地域に必要な学校であることは間違いなので、アンケートを通して地域の皆さんの素直な思いを聞き出してもらいたい。私も協力していきたい。

意見2：今年の白樺祭で昨日今日と楽しくバザーをやらせてもらっている。私の家は学校のすぐ前ということもあり、飛騨神岡高校が目前にあることが当たり前という環境で育ってきた。保護者の立場からこの地域に高校があることは嬉しく有り難いことだと感じている。飛騨神岡高校は良い学校だと思うので少しでも役に立てたらい。

意見3：宇津木監督の取り組みは私も嬉しかった。

飛騨市外に住んでいる保護者から高校のことで相談を受けた。その親さんには飛騨神岡高校を推した。進学も就職もしっかり指導してもらえるし、大学にも推薦等を活用していけるよと話をした。

(中学校の)部活動の地域移行が進んでいるが、競技(種目)によって人数の多少はあるが活発に活動している競技もある。陸上は参加(活動)している人数も多いし、バレーボールでも近所の施設を借りて練習している姿も見かける。バドミントンがやりたいという声も多く聞かれる。中学校にはあるが高校にはないという競技もあり、スポーツの需給の不合致がある。子どもたちにはやりたいことをやってほしいという思いもあるので、中高生と一緒に練習したりできるように、今活用できるモノ(公共交通機関やスクールバス等)を使っていけたらよいのではないかな。現状は保護者送迎が主な手段となっているようだが、実現できるように今できることでやっていけるように取り組んで欲しい。小中学校や市の教育委員会、高校、地域の力を結集していければ。

意見4：神岡町住民にアンケートを実施していけるといい。地域の生の声を聴くこと集めることは有意義である。ぜひ進めてほしい。

飛騨サポーターとして、以前お話しした飛騨市のふるさと納税関連の補助は申請もとおり予算がもらえる。来年度ではあるがいろいろなところに活用していきたい。

意見5：飛騨神岡高校のみんながいろいろと取り組まれていてよい。今後のことも目標を持つことでどんどん前に進めていける。

部活動なども現有の施設設備をもっと有効に活用できればいいのではないかな。グラウンドも広く、野球やサッカー、テニスもできるし、体育館や格技場もあり、地域の方にも使ってもらっていいのではないかな。

委員の全員から感想とご意見をいただき、その後、部活動(地域スポーツ)やオブザーバーからの岐阜県の動き、神岡の現状等で話が盛り上がり、予定時間を大きくオーバーした。

次回(第3回)にはアンケートの結果が報告できるよう進めることで意見がまとまり第2回の協議会を終了した。

6 会議のまとめ

本委員会では、前期の取組や学校評価アンケートの結果について報告や説明をして意見をいただいた、取り組みについては高評価をいただき、学校評価アンケートについても、さらに評価が高まるよう取り組んでほしいとの助言をいただいた。会長からの提言を受けアンケートを実施するなど取り組みを進めることで意見がまとまった。また、文化祭を見ていただき生徒の様子や学校の雰囲気を感じていただく良い機会となった。